



## ライムライト：エッジでのプログラマビリティの実現

March 26, 2020

By: [Ghassan Abdo](#), [Dave McCarthy](#)

### クイックテイク

エッジコンピューティングという考え方が IT 業界に広がり、テクノロジーサプライヤーと通信事業者は市場での差別化や成長につながる新たな製品やサービスの創出に向け、このエッジコンピューティングのコンセプトを利用し始めている。

ライムライト・ネットワークス（以下、ライムライト）は、コンテンツ配信のよりダイナミックなコントロール能力を開発者に提供することで、グローバルなコンテンツ配信ネットワーク（CDN）を通じたビデオ（動画）配信の最適化という目標に対して新たな成功を追加する好機にあると認識している。同社の CDN はサーバーレスコンピューティングプラットフォームとして設計されているため、顧客はワークフロー（コード化された制御手順）をネットワークエッジで定義し実行させることによって、リアルタイムでのインタラクションに必要な低レイテンシーを実現できる。

約 130 か所の配信拠点と高パフォーマンスが得られるよう最適化されたソフトウェアスタックを持った Limelight EdgeFunctions は、エッジアプリケーションの利用を加速している。

### ハイライト

先頃、ライムライトは、Limelight EdgeFunctions と呼ぶ新しい分散型サーバーレスコンピューティングサービスを発表した。これによって、開発者は、同社のグローバルエッジプラットフォーム上で、コードを容易に展開できるようになる。

Limelight EdgeFunctions によって、開発者は、ライムライトのグローバルフットプリントとスケールのメリットを享受し、同社のエッジロケーションで自ら開発したコードを実行できる。Limelight EdgeFunctions はグローバルなサービスであり、ライムライトの CDN と同一ロケーション（コンテンツリクエストを受け取った場所に最も近いロケーション）で実行される。そのことによって、コード実行におけるレイテンシー（遅延）を最小限に抑えて、最適なユーザーエクスペリエンスを提供できる。また、Node.js、Python、Go をサポートしているサーバーレスコンピューティングの「API（Application Programming Interface）ファースト」アプローチによって、開発者の負担が軽減されコンテンツのワークフローの革新と統合に集中できる。

このプラットフォームは、ライムライトの CDN 顧客のニーズを満たすことを目標にしている。パーソナライズされたストリーミング配信、アクセス制御、動的な広告挿入、コンテンツ保護、A/B テストおよび画像操作といった動画のストリーミングやコンテンツ配信のユースケースに最適なプラットフォームである。Limelight EdgeFunctions は、世界で最も高性能な動画ストリーミングおよびオブジェクト配信ネットワークの一つであるライムライトのエッジサービスプラットフォームと統合されている。

現在、Limelight EdgeFunctions はフィールドトライアル中であり、2020 年の第 2 四半期には一般提供を予定している。

## IDC の視点

エッジは、グローバルな e コマース、データの収集と配布、およびリッチメディア配信の新しい中核となりつつある。エッジは、企業をデジタルファーストな企業に変革させる重要なイネーブラーである。現在、エッジに導入されている企業の IT インフラストラクチャは 10% 未満であるが、今後、企業の新たな IT インフラストラクチャの 50% 以上が、企業のデータセンターではなくエッジに導入されると IDC は予測している。IP トラフィックの多くは CDN 経由となり、2023 年までに CDN 経由のトラフィックは全体の約 80% に達すると考えられる。リッチメディアサービス配信の新しいパラダイムである先進的なエッジコンピューティングにおいて、CDN は重要な役割を演じる。エンドユーザーは、革新的なサービスをタイムリーかつ手間をかけずに開発および展開するために、エッジでのプログラマビリティを必要としている。

ライムライトの今回の製品発表は、エッジでのリッチメディアサービス需要に対応するソリューションへの希求度を裏付けるものである。このトレンドの基盤となるテクノロジーイネーブラーは、エッジでのプログラマビリティである。ライムライトは、開発者コミュニティに向けて、エッジでのプログラマビリティの普及を目指すための定石の戦略に注力している。開発者は、オープンソース言語サポート付きの API ベースのプログラミング環境の利点を活用できる。世界的規模でスケールアップ（拡張）できることは、ライムライトを利用する大きなメリットである。この発表は、ライムライトと社内の主要企業顧客の戦略的パートナーシップの道を開くものであろう。

この Limelight EdgeFunctions の発表は、利用可能なすべてのエッジプラットフォーム上でのグローバルなエンドツーエンドサービスのシームレスな統合を達成するビジョンに向けた重要なステップである。このビジョンの実現には、CDN プロバイダー、コンテンツプロバイダーおよび ISP の間でのコラボレーションが必要であろう。これによって、コンテンツの配信や価格設定、およびエンドユーザーによるコンテンツ消費の在り方を変える新しいビジネスモデルが創出されることが考えられる。その結果、CDN エッジサービス向けのマーケットプレイスが生まれるであろう。IDC ではこれらを歓迎すると共に、さらなる発展を引き続き注視する考えである。

### Subscriptions Covered:

[Content Delivery Networks](#), [Edge Strategies](#)

Please contact the IDC Hotline at 800.343.4952, ext.7988 (or +1.508.988.7988) or sales@idc.com for information on applying the price of this document toward the purchase of an IDC or Industry Insights service or for information on additional copies or Web rights. Visit us on the Web at [www.idc.com](http://www.idc.com). To view a list of IDC offices worldwide, visit [www.idc.com/offices](http://www.idc.com/offices). Copyright 2020 IDC. Reproduction is forbidden unless authorized. All rights reserved.